

子育て支援だより

「子育てワンポイントアドバイス」

第140回 「子どもの声に耳を傾けて心と向き合う」

こころの相談員 渡邊 裕子

“きく”には3つの漢字が使われます。話を『聞く (hear)』は聞こえる、『聴く (listen)』は能動的に聴く、『訊く (question)』は訊ねる、の意味があるそうです。

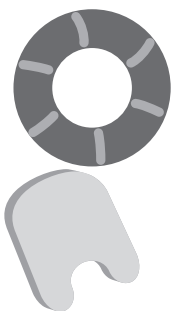
子どもが泣き出した時など、「何で?」「何があったの?」と聞く場面はいろいろな所あります。私たち大人は、まず、「ここが痛い?」「どこで転んだの?」と聞くと思います。言葉が未熟な子どもには、Yes,Noで答えられる質問法が有効でしょう。確かに事情を知ることは大事です。

そんな中、出来事や事柄を重視し、問題解決で終了され、『今、ここで』の子どもの感情を見落としてしまうことがあります。聞きたいことと聞いて欲しいことが、一致しないこともあります。子どもの状況から予想をたてて、「痛かったね」「怖かったね」と、誘い水のように言葉をかけると、自分の気持ちに気づくことが多くなります。

聞き手の声のトーンや言葉の速さ、表情などの雰囲気、子どもの話したい気持ちを刺激し、『今ここで』の感情を聴いてみませんか。

『傾聴』をして、共感や受容してもらった安心感は何よりの宝物です。聴いてもらった体験の多い子どもは、相手の気持ちも聴ける人に育っていくと思います。

※渡邊こころの相談員は、あさひ園・育児相談にて相談活動を行っています。



巡回児童相談のお知らせ

三重県北勢児童相談所による巡回児童相談を下記のとおり実施いたします。18歳未満の方で、療育手帳の新規取得・更新を希望される方が対象です。ご希望の方は、子育て健康課(377-5652)までお申し込みください。

記

日程

9月22日(金)

12月1日(金)

1日当たり4件で、予約制です。

